

新しい町長が決まる

町議補欠選挙で三議員も選ばれる



発行所 鷹巣町役場町長室
電話 (代)550番 直通42番
(発行部数 6,100部)
印刷所 成文社印刷所

人口動態

5月1日現在
本籍人口 32,884人
住民登録人口 13,615人
男 14,194人
女 27,809人
世帯数 5,995

町長に出川礼一氏

投票率は八九・〇七パーセント

昭和四十二年統一地方選挙の最後である町長、町議会議員補欠選挙は四月二十一日に告示され、四月二十三日投票日、同日午後七時三十分から鷹巣町公民館で開票、二百五十人の町民の見守るなかで新しい町長に出川礼一氏が当選、町議補欠選挙でも三氏がそれぞれ当選した。



(写真) 一万四千三百余人が新しい町づくりのために審判を下した
町長・町議補欠選挙開票風景

町長選挙
当選 五、三六五票
出川礼一 (無新)

次点 五、〇二五票
成田 稔 (無新)

三、八二二票
武藤完一 (無新)

町議会議員補欠選挙
当選 三、〇二九票
渡辺茂雄 (共産新)

当選 二、六九七票
長谷川真一郎 (無新)

当選 二、二一八票
伊原勇一 (無新)

次点 二、三九九票
修之助 (無新)

一、七一一票
米沢吉左エ門 (無新)

一、四五四票
嶺脇新一 (社新)



投票風景=鷹巣東投票所(上)明利又投票所(右)

新町長の横顔



出川礼一氏

大正十四年八月二十日生、四十一歳。住所 本籍地・鷹巣町綴子字糠沢三五の一。昭和七年四月綴子小学校入学、十五年同校卒業、同年県立鷹巣農学校農業科入学、十八年同校卒業、十八年満洲国生活必需品株式会社に入社、二十年同社退社同年秋田東部五八部会入会、同年二月満洲国第二〇九部隊に転属、同年八月十五日終戦となる。二十三年六月二十五日まで外地地留、解除されて復員する。復員後農業に従事し、二十六年四月綴子村議に二十五歳で立候補し当選、三十年四月再選、三十七年九月村合併により、鷹巣町議、二十九年七月綴子農業協同組合理事に就任、三十二年同農協専務理事、三十五年四月町議当選、三十八年綴子農業協同組合長に就任、三十九年町議当選、四十二年三月十日町議辞任。議会は土木常任委員、綴子土地改良区代表監事、厚生連北秋中央病院運営委員、鷹巣町消防団第六分団長。家族は父、母、祖母、妻、一男、二女。

新しい町議の横顔



渡辺茂雄 三十五才
鷹巣・大町。鷹巣農林昭和二十六年卒業。二十六年合川営林署に勤務後、農林技官となる。三十年全林野労働組合合川分会青年婦人部長。三十三年全林野労働組合合川分会部長、県北ブロック議長、三十四年営林署退職。四十一年日本共産党鷹巣支部委員長。旧姓、佐藤。長谷川真一郎 六十才
鷹巣・栄町。鷹巣農林大正十一年卒業。昭和二十二年四月から二十四年六月まで鷹巣町消防団長。鷹巣農林高校PTA会長を歴任。同校PTA理事同校同窓会理事。鷹巣町体協理事。写真真実。



伊原勇一 六十三才
鷹巣町堂ヶ岱。沢口小学校卒業。早稲田大学夜間部電設部二年で中退。農林省秋田食糧事務所農林技官を歴任。現在、秋田農業協同組合代表監事。鷹巣町農協事業連合会第七分団代表監事。本籍地東京府・旧姓、佐藤。



伊原勇一 六十三才
鷹巣町堂ヶ岱。沢口小学校卒業。早稲田大学夜間部電設部二年で中退。農林省秋田食糧事務所農林技官を歴任。現在、秋田農業協同組合代表監事。鷹巣町農協事業連合会第七分団代表監事。本籍地東京府・旧姓、佐藤。

投票内訳

	町長	町議補欠
有効投票数	14,211	13,792
無効投票数	153	566
無効票	2	8
計	14,366	14,366
投票率 (%)	89.07	89.07

町社会福祉会へ寄付

このほど次の方々から亡くなった家族の香典返しに寄付されました。ご芳志に感謝します。
鷹巣・松葉町長谷川芳三さん、亡父が蔵さんの香典返しに、二四二円。
鷹巣・西崎町小松孝子さんから父が父二さんの香典返しに、一〇〇〇円。

慶弔たより

四月中受理分
〔出生〕
河田純士、長男。泰(坂本町)▽高橋照雄長女。佳子(南鷹巣)▽雪田清一長女。千明(東仲通)▽田村良男、長男。東幸(旭町)▽成田芳夫、長男。修(母見町)▽藤島勉、長男。武志(東郷町)▽大川長女。明美(花園町)▽石田司、長男。素之(末広町)▽萩原義勝、二女。真木(新旭町)▽沢沢教一、二女。春香(真旭町)▽千葉亮長女。良子(横淵)▽近藤慶長、長女。美輝子(中屋敷)▽神成義範、長女。伸男(小森)▽中島義雄三男。勝(川口)▽五代義英治二男。寛(堂ヶ岱)▽三沢弘三郎、長男。弘幸(舟場)▽照内建一、二女。誠子(太田)▽亀山芳美

★ 辞令

五月四日付
依願退職
町長課
主事補 成田道子
五月十日付
採用
七市財産区
主事補 畠山清志

おことわり

五月一日、十五日付けをこの日より本号限り五月七日日付けとさせていただきます。

線に倒し断電せたり、電柱を倒したりして停電事故が多くなってきました。こうした事故は、感電事故につながることもありまので、今後電線の近くで木を切る場合は必ず事前近くの東北電力の電業所出張所に連絡してください。

三千人が子ども大会に参加

子どもたちは、町主催で「子どもの日」を中心にした町の単位子ども会が団体活動をおとして一般市民の理解を深め、健全な青少年の育成強化をみ込んで考えようとしている。以下にその内容を力強く宣言した。

- ③ 遊具や 樹木を壊さないようにしよう
- ④ 交通のきまりをよく守ろう、交通事故のないよう心がけよう

新協力委員紹介

当日は、さつき晴れのよい天気に来て、午前九時半、米代町立児童公園に各子どもも会ごとに会旗、プラカード、小旗をもった会員が引率の子ども会世話人とともに整列、緑ヶ丘小学校の鼓笛隊を先頭に町内行進し	妻の病が癒え、お父さんとお母さんとおどります。	高森 泰信 伊藤 清藏
▽青草子とも会（重果、西横町）▽こまどり同（蘆橋町）▽青空同（栄・太田）▽若同（坊沢・相替町）▽町同（七座・前山）▽若町同（綴子・田子ヶ	七日月地区 本郷四郎 長岐文彦 佐藤 忠雄	綴子林道を改良 工事中
▽小田同（沢口市本道改良工事のため、事業期間中）	高森 泰信 伊藤 清藏	綴子林道改良工事のため、事業期間中

町、町長の代理として笹原
収入役からあいさつがあり
八幡良子も会が表彰され
た。出席した来賓の吉村北
秋田福祉事務所長、渡辺町
教育長、藤原町子も育成
会連絡協議会会長から激励や
お祝いの言葉をかけたあと
栗地区の子ども会が代表
し、町内行進がわたったとき
町の児童公園で大会が開か
れ、郷三（四組）

児童公園は、町のすべて
の子どもたちが心身として
健康やかに社会人として
成長するのうに昨年五月
五日に開園した「子どもの
広場」です。

児童公園の
やくそく

場所は緑子字田子ヶ沢池
内で延長四千三百六十メー
トル、幅員三・六メートル
期間十一月三日までに火
工事の施行に当たっては火
薬類が多少使用されること
で、歩行者は工事敷道を注
視し危険のないよう歩行し
ます。この期間中通行に
止めるのでこの通知中通行に
留意ください。

危害防止運動六月十四日まで

農薬にご注意!

千葉県が、田代町で発生した農薬中毒事件の調査結果を公表し、農薬の使用に厳格な指導を行っている。また、農薬の取り扱いには十分注意を要する旨を呼びかけている。

農薬は農業による事故の原因の一つである。農薬の誤用や過剰使用により、農家の健康被害や環境汚染などが発生している。特に、農薬の取り扱いに不注意な場合、重大な事故につながる可能性がある。

千葉県では、農薬の安全な使用を促進するため、農家に適切な指導を行うとともに、農薬の流通管理にも力を入れている。また、農薬の廃棄方法についても指導を行っている。

農家は、農薬を使用する際には必ず取扱説明書を読み、正しい使用方法を守る必要がある。また、農薬の保管場所も適切に選ぶ必要がある。

農薬の中毒症状としては、嘔吐・下痢・頭痛・めまいなどがある。万一、このような症状が出た場合は、すぐに医療機関を受診することになる。

農薬の安全管理は、農家の健康と環境を守るために不可欠である。千葉県では、今後も引き続き農薬の安全管理に取り組んでいく予定である。

- ①農薬散布にあたっては、農家のみなさんは、農薬を軽視される方もありますが、農薬の使用取扱いはじょうぶな気分をつけないものです。
- ②呼吸が弱くなり、よほど頭を横にし、ただれが口で詰まらないようにし、つぶせにして人呼吸を必要とするようになったとき
- ③呼吸が弱くなり、よほど頭を横にし、ただれが口で詰まらないようにし、つぶせにして人呼吸を必要とするようになったとき
- ④呼吸が弱くなり、よほど頭を横にし、ただれが口で詰まらないようにし、つぶせにして人呼吸を必要とするようになったとき

必ず手袋、マスク等を 着用すること。	④目に入るときは、直 に食塩水で十五分間以 上洗う。
③作業後、手足はもちろ ん、全身を石けんでよく洗 い、衣類は毎日のように取 り替えること。	⑤新鮮な空気のところで 体を安静にする。
②作業後、酒をのんだり、 夜ふかしをしないこと。	⑥タバコ、茶などの喫 煙を飲むこと。
①人は散布作業に従事しな い人は慎重に行い、不健康 な人は散布作業に従事しな いこと。	⑦医師にみてもらって 服し。

永安寺
(坊沢)

永安寺は旧手記によれば旧坊沢村旧家長崎家三代の祖・兵庫助定綱がそ

たぬ、慶長十年、柳沢が流
れに彌陀院一庵を建、地
名を柳沢と号し、寺号を永
安寺と称すとなりました。

当時は寺格は平地地であ
ったが、元禄四年（二
百七十六年前）に大願市
宗福寺の十世・葉山相權
大和尚を勧請開山に請し
て出生地とし、法地寺と
して二世中、興雲山伝寛
大和尚が永安寺の基礎を
確立し、元禄五年にたつ
ぽ本堂を建立したのであ
ったが、元文三年四月
二日（二百三十年前）当
村の即太郎火事といわれ
る大火の際、全村はとん



よから六十年
(明治四十年)

いまだから六十年前（明治四十年四月一日）七日市与助偕にあった竜森小学校を



国民年金

国民年金は、農業、漁業、料を納めた期間まではかか
あるいは営業者を営む人や、料を納めた期間まではか
その者の家族が年金をつとめた金免除の手續きを受け
り、けがをしたり、死亡し間を加えて二十五以上な
るの生活の安定を図る中高年齢者などは特別の
したときとされた所得保障をおよぼなければならない
とする年金制度なので措置が設けられており、前
老齢年金については、支の二十五歳がそれぞれ
開始年が六十五歳にな年齢に応じて二十四から
来るこのようであり、十年に短縮されています
るため、老齢年金を受けるから六年を数え、今日、こ

×	×	×
---	---	---

五月の空はすばらしい
雲ひとつない青空……
さわやかな薫風になびく
こいのほり
健やかな子どもは広場で元気よく

〔写真は5月5日の子ども大会＝児童公園で〕

